

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35778
事業名	雑がみリサイクル事業費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 循環型社会推進				
	課長名	岡本 俊幸	担当者名	原 祥吾・佐藤 真広	電話番号	011-211-2928
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	収集した「雑がみ」を適切に再資源化するため			
		長期	一般廃棄物の減量及び資源の有効利用を図るため			
	取組内容	本市が分別収集した「雑がみ」は、中沼雑がみ選別センターと民間古紙選別施設において、古紙の選別・処理を行ったうえで売却しているが、そのうち本事業は民間古紙選別施設での古紙の選別・処理を委託により行うもの。				
	実施結果	民間古紙選別施設分 ・処理量: 11, 686t(市全体雑がみ収集量20, 456t) ・売却量: 9, 196t(規格品: 8, 110t、主要古紙: 1, 086t) ・売却収入: 109, 851千円				
事業実施における工夫点	雑がみの再資源化にあたっては、中沼雑がみ選別センターと民間古紙選別施設の2系統で選別を行い、リサイクルルートを分散させることでリスクの軽減を図っている。					
対象者	市民	開始	平成21年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
他都市の状況	政令市では、札幌市のほか11市で実施している。 なお、札幌市と同様の雑がみ回収を行っているのは、指定都市では川崎市のみ。(市有施設のみで選別を行い、再生工場にてトイレトペーパーを生産)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	190,625	193,412	195,273	196,656	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.5	0.5	0.5	0.5	
人件費	3,600	3,600	3,600	3,600	
計(事業費+人件費)	194,225	197,012	198,873	200,256	
事業費の内訳	令和3年度決算	○雑がみ再資源化業務委託料 195, 273千円			
	令和4年度予算	○雑がみ再資源化業務委託料 196, 656千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	処理量(民間古紙選別施設)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	11,558t	11,520t	11,686t	11,520t
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	処理量以外の指標設定不可		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	収集した雑がみは、すべて適切に選別・処理されており、再利用するため、製紙工場へ引き渡されている。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	市内10カ所の民間古紙選別施設の処理能力に応じた処理量であることから、事業規模は適切である。		
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	収集した雑がみを確実に選別・処理し再資源化するためには、雑がみ選別の専門的技術や、道内製紙工場への販売ルートがあり、安定した処理を行うことができる民間古紙選別施設の活用が必要であることから、事業の実手法は適切である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市民の協力のもと収集された雑がみは、適切に選別・処理された後、トイレトーパー等に再利用されているため、市民のニーズに応えている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	収集した雑がみはすべて適切に選別・処理されており、民間古紙選別施設を活用することや処理能力に応じた処理量を確保するなどの事業手法・規模により処理を実施していることから、現時点では必要な改善点はないと考えている。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	効率的な選別・処理を行うため、民間古紙選別施設への搬入状況を随時把握し、10カ所ある選別施設への搬入量の調整を行った。	見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	収集した「雑がみ」が適切に選別・処理が行われている。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 適切に雑がみの選別・処理を行っていく。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 民間古紙選別施設の処理能力に応じた処理量であり、次年度以降も同程度の処理量を見込んでいる。	見直し効果額	0 千円